

緑の苑調査特別委員会 調査活動の経過について

緑の苑の運営等に関する調査を行うため、議長を除く全議員13人で構成する特別委員会を設置し、閉会中の継続調査を行いました。今回は、調査活動の経過を紹介しますが、その内容については次号で知らせます。

- ◆第1回 (3月19日)
 - ・正副委員長の互選
- ◆第2回 (4月14日)
 - ・緑の苑を視察
- ◆第3回 (4月25日)
 - ・町からの説明
- ◆第4回 (5月12日)
 - ・町からの説明
- ◆第5回 (5月26日)
 - ・緑の苑家族会との懇談
- ◆第6回 (6月27日)
 - ・町からの説明
- ◇視察 (7月2～3日)
 - ・道内の特養3施設を視察
- ◇視察 (7月23日)
 - ・管内の特養3施設を視察
- ◆第7回 (8月26日)
 - ・町からの説明
- ◆第8回 (9月3日)
 - ・町からの説明
- ◆第9回 (9月22日)
 - ・論点の整理
- ◆第10回 (10月10日)
 - ・委員間の意見交換
- ◆第11回 (10月21日)
 - ・委員間の意見交換
- ◆第12回 (10月30日)
 - ・委員間の意見交換
- ◆第13回 (11月5日)
 - ・委員会報告書の作成

議

会

つてどんなところ？

議会を傍聴してみませんか

定例会は年4回(3・6・9・12月)開かれ、臨時会は必要に応じて開かれます。傍聴手続きは、議場入口の受付票に住所・氏名を記入するだけです。小さなお子様も入場できますので、どうぞお気軽においでください。12月定例会は16日から開かれる予定です。日程が決まり次第、町ホームページなどでお知らせします。

議会報づくりを学ぶ

～ 広報研修会 ～

北海道町村議会議長会主催による議会広報研修会が8月19日札幌市で開催され、本町議会から広報編集委員3名が参加しました。研修会では、広報プランナーの和田雅之氏から「議会報づくりと時代の潮流」と題した講演を受け、「議会と住民を結ぶ太い絆であり、読者が求める議会報とするため、高い見識を持つて編集作業にあたってほしい」との激励を受けました。



裁判員制度に理解深める

～ 議員研修会 ～

10月28日、美幌町民会館において北網ブロック町議会議員研修会が開催され、構成する8町議会から107名の参加がありました。釧路地方検察庁次席検事の有水基幸氏を講師に「裁判員制度について」と題した講演を受け、制度導入への理解を深めました。講演後は、裁判員の役割や判決に至るまでの疑問点を講師に質す場面もあり、議場さながらのやり取りが見られました。

常任委員会の

事務調査

常任委員会では、閉会中の事務調査として次のような調査活動を進めています。

- ▼総務文教厚生
 - 行財政改革について
 - 教育行政について
 - 福祉行政について
 - 医療行政について
- ▼経済建設
 - 農林業振興について
 - 商工振興について

あ と が き

- ▼「びほろ町・ぎかい」第190号をお届けします。
- ▼本格的な冬がそこまでやってきました。今年は例年になく大きな台風や大雨の災害はなかったものの、冷夏、小雨の年になりました。農作物の作況については品質に問題があったようですが、まずまずな年になったようです。
- ▼世界の人口は67億人を超え、2050年には92億人に達します。国内の食料自給率は4割、国外に6割を依存していますが、世界の人口が増加していく将来においても、食料は安定的に確保出来るのでしょうか。今後の農業政策に関心を持ちたいものです。
- ▼11月の臨時会では、使用料・手数料の見直しから提案されました。物価の高騰が続く、町民の生活に大きな影響が出ています。議会としても重要な案件であることから、審査特別委員会を設置し、慎重に審査を重ねて参ります。
- ▼町の財政状況と将来の負担を念頭に置きながら、様々な角度から検証しなければなりません。町に努力を促すことはもちろんですが、この町に暮らす一人ひとりが町政に関心を持つことが必要です。
- ▼12月は定例会が開催されます。本年を振り返り、明日のまちづくりに向けた議論が活発に交わされるものと思います。皆さんの傍聴をお待ちしています。

議会広報編集委員会

- 委員長 横関望吉
- 委員 大江 道男
- 委員 橋本 博之